

令和5年第3回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

日	時	人 数
令和5年9月28日(木)	午前10時～	5人(1番から5番まで)
令和5年9月29日(金)	午前10時～	5人(6番から10番まで)

質問 順位	議 席 番 号	会 派 名	通 告 者 氏 名	抽 選 番 号	種 別
1番	5	自由民主党	大場 和 晃	1	一問一答
2番	2	日本共産党	伊藤 真 弓	4	一問一答
3番	12	自由民主党	佐藤 雅 博	5	一問一答
4番	1	日本共産党	峪 道 子	8	一問一答
5番	4	自由民主党	大内 裕 太	12	一問一答
6番	9	公 明 党	阿部 正 幸	13	一問一答
7番	16	市民クラブ	昌浦 泰 已	14	一問一答
8番	11	公 明 党	齋藤 裕 子	16	一問一答
9番	8	日本共産党	中田 定 行	17	一問一答
10番	3	多賀城の未来を 照らす会	池田 純	18	一問一答

計 10 名  
 総括質問方式： 0 名  
 一問一答方式： 10 名



質問順 1番	受付月日 9. 13	通告者	5番	大場 和晃	
		発言時間	30分	種別	一問一答
<b>1 子育て支援について</b>					
<p>近年、おむつ定期便なるサービスを導入する自治体が増えてきているのは周知のことだと思います。おむつだけでなく、子育てに関する備品を配布して現物による支援をする一方、配達の際に定期的に親と乳児の状況を確認し見守ることがメインという自治体もあります。</p> <p>最近導入した福岡市では、対象となる子育て関連施設やサービスを利用することでもらえる電子スタンプを育児用品と交換できるようにし、サービスを利用していない家庭は見守り対象にしています。</p> <p>経済的な負担の軽減だけでなく、虐待防止にも繋がる取り組みです。</p> <p>こうした子育て支援について本市の考えを問います。</p>					
(1) 子育て政策を厚くすることにより子育て世帯の人口増（転入含む）に効果が見込めそうですか。					
(2) 自宅へのおむつ定期便の導入予定はありますか。					
(3) 他に実施予定、検討中の子育て支援制度はありますか。					
<b>2 津波注意報、警報時の一時避難場所（津波避難ビル）について</b>					
<p>多賀城市のHPに記載されている一時避難場所（津波避難ビル）について質問致します。</p>					
(1) 夜間に津波警報が発令された際に、一時避難場所（津波避難ビル）が施錠されていて入れなかったということがありました。避難訓練でも使用されている場所が、夜間には避難場所として機能しなかったことについてどう対処しますか。					
(2) 避難場所として利用可能な時間帯などを周知徹底させる必要があると思いますが、どのような方法をとりますか。					

質問順 2番	受付月日	9. 13	通告者	2番	伊藤真弓
			発言時間	20分	種別

### 1 子どもの教育条件改善を

中教審から8月28日付で「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組む施策」（提言）が出されました。また、同29日には、文部科学大臣メッセージが出されました。「教師を取り巻く環境整備を、国や県、市町村、学校が自分事としてその権限と責任に基づき主体的に取り組む必要がある」と書かれています。これを受けて、多賀城市としてどのように進めていくのかを伺います。

- (1) 「学校・教師が担う業務に係る3分類」に示されたもので、廃止や精選したもの、あるいは、今後実施する予定があるものを教えてください。
- (2) 多くの教育職員が長時間勤務を余儀なくされています。学校の業務の見直しや必要な環境整備が早急に必要かと思いますが、取組の予定があれば教えてください。
- (3) 今こそ教職員の数を増やす時と考えますが、市独自の少人数学級や教職員の定数増の考えはありますか。

### 2 学校給食の無償化を

多賀城市は、「学校給食の無償化」は「国がやるべきこと」としていますが、「子どもを地域全体で応援する」のであれば、市として取り組む課題であると思いますが、いかがですか。

### 3 高齢者や障がい者の支援策の充実

高齢になっても、障がいがあっても、社会の一員として人間らしく生活することは大切なことです。福祉の事業は、市民の暮らしを支え、生活を人間らしく豊かにするためのものです。充実することが必要です。それを踏まえ以下の点について質問します。

- (1) 補聴器への公的補助制度の導入と、特定健診に聴力検査を加えるように求めますが、いかがですか。
- (2) 高齢者及び障がい者のバス料金無料の社会実験の施策は、令和7年9月30日までの3年間になっています。社会実験であれば、参加者や市民から寄せられた意見などをもとに実験内容を柔軟に見直すことが必要だと思います。アンケートの結果を整理分析して、今後、施策の本格実施、あるいは見直しや中止の予定はありますか。

質問順 3番	受付月日	9. 12	通告者	12番	佐藤雅博	
			発言時間	30分	種別	一問一答
<b>1 公園管理のあり方に関して</b>						
(1) JR多賀城駅前公園は、数件の利用団体にとどまっています。特定団体のみ利用しない現状を考えれば何かしらの原因があると思います。どう捉えていますか。						
(2) 公園利用にあっては細かくルールなどが条例で定められていると思います。利用規則、料金、登録方法、減免措置など市民が使いやすいようになっていますか。						
(3) ステージイベントを行う団体にとっては、ステージや屋根は必要不可欠なものだと思います。利用している団体からは、屋根だけでもあれば大変ありがたいの声が出ています。利用率向上を図る上で関係団体と協議していただきたいと思いますが、いかがですか。						
(4) 南門周辺整備が進めば、周辺を利活用したイベント等の開催で賑わいづくりが急務になって来ると思います。中央公園に関する交流人口増大へとつながる具体策は考えていますか。						
(5) JR多賀城駅前公園と中央公園について、本市が考えるまちづくりに合致する団体があればイベントや公園管理を委託する方法もあると思います。考えを伺います。						
<b>2 南門周辺の一体的道路整備について</b>						
6月定例会にて政庁南大路は、盛土による復元を目指す方向性が示されました。その後進展はありましたか。						

質問順 4番	受付月日	9. 13	通告者	1番	峪 道子	
			発言時間	30分	種別	一問一答
<p><b>1 給付型奨学金の創設、拡充と返済に困難を抱えている場合の支援策について</b>            高等教育費の負担の軽減は切実な願いであり、最も力のある子育て支援策になります。実際に、市民からも多くの要求が寄せられています。その立場から以下質問致します。</p> <p>(1) 高等教育への給付型奨学金制度を市として独自につくられたい。            (2) 奨学金の返済負担軽減のために市として独自に支援策（補助等）を講じられたい。            (3) 給付型奨学金の拡充と条件の緩和を国に要請されたい。</p> <p><b>2 国民健康保険税の子ども均等割の全額減免について</b>            子どもの人数だけ増えていく国保税の子ども均等割の負担は、自営業者などの子育て世帯の大きな負担になっています。</p> <p>(1) 市は国民健康保険税子ども均等割を全額減免されたい。            (2) 国の子ども均等割の減免対象は未就学児のみになっており、もっと対象を大幅に引き上げるよう、強く国に働きかけられたい。</p>						

質問順 5番	受付月日	9. 14	通告者	4番	大内裕太	
			発言時間	20分	種別	一問一答
<b>1 多賀城創建1300年に向けた取り組みについて</b>						
多賀城創建1300年を契機に本市の観光・物産振興を図るためには、民間事業者及び関係団体等との連携が重要であると認識しており、以下についてお伺いします。						
(1) 創建1300年に向けて広域観光連携自治体、関係団体等と連携した事業は計画しているか。						
(2) 観光消費額増加に向けた取組を推進すべきと考えるがいかがか。						
<b>2 ICTの活用による行政事務の効率化について</b>						
本市では、令和3年1月5日「多賀城市ICT利活用方針」が策定され、基本方針3では、行政運営の効率化・高度化が掲げられています。行政が担う業務は多岐に渡り複雑化している一方で職員数は減少しており、ICT技術の積極的な活用・導入が必要です。今後、住民サービスを充実させるために行政の仕事の進め方にも変化が必要と感じていることから、以下についてお伺いします。						
(1) 現在のRPA導入実績、今後の導入予定について						
(2) 関係機関や団体への照会やアンケート調査、災害時の各施設等からの被害状況の情報収集については、WEBフォーム等を活用し、業務の効率化を図ってはいかがか。						
<b>3 中学校部活動地域移行について</b>						
平成30年3月にスポーツ庁で策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」から始まり、令和4年12月に新たなガイドラインが示され、市町村における部活動地域移行について「達成時期を一律に定めず、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す」となっていることを踏まえ、以下についてお伺いします。						
(1) 現在の本市における進捗状況と課題について						
(2) 地域移行の受け皿の確保について						

質問順 6番	受付月日 9. 12	通告者	9番	阿部正幸
		発言時間	30分	種別
<b>1 多賀城創建1300年記念事業について</b>				
<p>多賀城創建1300年記念特設WEBサイトでは、多賀城にゆかりのある13名からメッセージが寄せられています。</p> <p>また多賀城創建1300年記念事業500日前イベントや、プロモーション企画として様々なジャンルのコンサートが開催され、多賀城応援団として市長から任命されている方々もいます。</p> <p>「多賀城応援団」として任命した方々に協力をいただき、多賀城創建1300年記念事業として、コンサート等を開催してはいかがでしょうか。</p>				
<b>2 南門周辺の整備について</b>				
<p>南門周辺の整備では、南門の左右に築地塀の工事を行っております。その後、ガイダンス施設の工事が行われる予定となっております。多賀城創建1300年記念事業で、全国から多くの方々に多賀城南門を訪れていただいたときに、多賀城のお土産を購入出来る場所やレストランなど食事出来る場所等の建設をしていただきたい。</p>				
<b>3 市営住宅の照明（LED化）の整備について</b>				
<p>市営住宅の照明がLED化に整備されていない住宅があり、電気代が高く、自治会の負担が大きいためLED化を求める要望があります。</p> <p>本市では、温室効果ガス総排出量に関する数量的な目標を定めた「多賀城市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を平成31年4月に策定し、温室効果ガス総排出量の取組別削減見込に照明のLED化が明記されています。</p> <p>目標達成に向けた取組の基本方針には「温室効果ガス総排出量の削減目標を達成するため、市が行う全ての事務及び事業並びに、これらの執行に係る全職員が推進に努めること」とあります。</p> <p>LED化の整備がされていない市営住宅に対して、LED化の整備をしていただきたい。</p>				

質問順 7番	受付月日 9. 13	通告者	16番	昌浦泰已
		発言時間	30分	種別
<b>1 障害児通所支援について</b>				
<p>(1) 市は、市在住で障害児通所支援サービスを利用しているお子さんの全数を把握されていますか。その数は年々増えていますか。</p> <p>(2) 市内の障害児通所支援事業所は、需要に相当していますか。</p> <p>(3) 医療的ケアが必要な児童の日中の居場所はどのようになっていますか。市長、教育長の御回答を要望します。</p>				



質問順 8番	受付月日	9. 14	通告者	11番	齋藤裕子	
			発言時間	30分	種別	一問一答

## 1 熱中症対策について

記録的な猛暑が続く中、7月末からの1週間では、全国で1万人超が熱中症により救急搬送されております。国は対策強化に向け、気候変動適応法の改正に基づく「熱中症対策実行計画」を令和5年5月に閣議決定され、自治体による積極的な対策を促していることから、本市の熱中症対策の取り組みについて以下の点について伺います。

- (1) 高齢者への熱中症対策について
- (2) 小中学校における対策について
- (3) 小中学校等への冷水器の設置について
- (4) 公共施設等をクーリングシェルター（暑熱避難の場）として設置し、市民に開放することについて

## 2 がん対策について

- (1) 胃がん対策について

日本人の死因の第一位である「がん」への対策は、2006年に制定された「がん対策基本法」及び「健康増進法」などに基づき、命と健康を守る取り組みが推進されています。先月1日に、国立がんセンターでは「防げたはずのがん」についての金銭的負担の推計が公表されており、胃がんが予防可能ながんであると示されています。早期発見・早期治療に努める事が何よりも重要と認識することから、以下の点について伺います。

- ① 本市の胃がん予防の取り組みについて
  - ② 胃がん検診にピロリ菌検査と、内視鏡検査の導入について
- (2) 若い世代の子宮頸がん対策について

国立がん研究センターの取りまとめによりますと、日本では子宮頸がんの罹患率、死亡率ともに増加しており、実効性のある子宮頸がん対策の必要性を指摘しています。日本では、25歳から40歳の女性のがんによる死亡の第2位は子宮頸がんとなっており、若い世代のがん予防対策の重要性から、以下の点について伺います。

- ① 若い世代へのがん予防、検診の受診勧奨の取り組みについて
- ② HPVワクチン接種勧奨の取り組みについて
- ③ 男性へのHPVワクチン接種の重要性、周知について

質問順 9番	受付月日	9. 13	通告者	8番	中田 定行	
			発言時間	30分	種別	一問一答
<b>1 市民の暮らしを守る施策への変更を</b>						
(1) 公共施設等総合管理計画について伺います。						
<p>第2回定例会の一般質問で、行政経営会議で示されたモデル施設について質しました。7月7日には日本共産党多賀城市議団として、市民サービスに直結する公共施設は存続するべきとの申し入れも行っています。</p> <p>鶴ヶ谷児童館、シルバーヘルスプラザ、市民プール・学校プール、志引保育所などの方向性及び公共施設等管理計画の策定状況はどうなっているのか伺います。</p> <p>志引保育所については、令和9年度に廃止解体との計画が示されていますが、説明もないままになぜこうなったのですか。</p>						
(2) 公営住宅等長寿命化計画について伺います。						
<p>大代住宅、高崎住宅、紅葉山住宅、浮島住宅の廃止が発表され、大代住宅は居住者の転居が決まり解体費用の補正予算が計上されています。しかし、宮城県が県営住宅全廃の計画を示し、市営住宅の廃止もこのまま進めば、市民の住む場所が奪われることとなります。市営住宅の廃止は止めて、修繕・建て替えて住環境を守るように施策を変更すべきです。市長の見解を伺います。</p>						
(3) 障害者及び高齢者支援事業の一部見直しについて伺います。						
<p>10月から福祉タクシー・障害者等自動車燃料助成事業、ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業、高齢者等配食サービス事業について見直しや廃止が実施されます。</p> <p>日本共産党多賀城市議団は、あまりにも市民に冷たい市政だと批判し、これまでの支援策を継続・充実させるよう求めてきました。</p> <p>特に、視覚障害者の方々は、移動手段はタクシーに頼っており支援が打ち切られると大変困るとして、署名活動を実施しています。困っている人に支援の手を差し伸べる施策に見直すよう求めます。</p>						

質問順 10番	受付月日	9. 13	通告者	3番	池田 純
			発言時間	20分	種別 一問一答
<b>1 多賀城市議会議員選挙の総括と投票率向上への取組について</b>					
<p>(1) 令和5年8月27日に執行された多賀城市議会議員選挙では、過去最低の41.17%の投票率となった一方、30代の若い候補者が多くの票を得た結果について、26歳で市議会議員となられた深谷市長の感想を伺う。</p> <p>(2) 多賀城市議会議員選挙の結果について、3年間の深谷市政への評価としてはどのようにとらえているのか伺う。</p> <p>(3) 多賀城市議会議員選挙における選挙啓発の取組内容と、結果的に過去最低の投票率となった要因についてどのように分析しているか伺う。</p> <p>(4) 令和5年10月22日に予定されている宮城県議会議員選挙における選挙啓発の取組内容について伺う。</p> <p>(5) 投票率の向上については、幼少期からの主権者教育の充実等の息の長い取組が必要かと思うが、市内小中学校児童生徒への主権者教育の内容について伺う。</p>					
<b>2 子育てしやすいまちづくりに向けて</b>					
<p>(1) 本市内にお住まいの方が出生届を本市に提出する際に、子ども医療費助成や児童手当受給の申請等、通常必要となる申請・届出が数種類あるが、それらの手続きをワンストップで受付すべきだと思えるがどうか。</p> <p>(2) 本市内にお住まいの方が出生届を本市に提出する際に、対象となる子ども及び保護者あてに市長名の感謝状を市長から渡してはどうか。</p> <p>(3) 富谷市で実施しているような乳幼児を対象としたおむつを届ける事業を本市でも実施してはどうか。</p> <p>(4) 先日、他県の保育園において保育園からの出席確認の連絡がなく、園児の親族が送迎車に当該園児を置き去りにして当該園児が亡くなる案件が報道されたが、本市保育園及び幼稚園で同様の事態が起きないための対策状況について伺う。</p>					
<b>3 多賀城創建1300年に向けたプロモーションと観光施策について</b>					
<p>(1) 来年の多賀城創建1300年に向け、歴史ある友好都市（奈良県奈良市、福岡県太宰府市、山形県天童市）と連携したプロモーションが必要だと思えるがいかがか。</p> <p>(2) 山形県天童市と連携し、人間将棋を本市で実施してはいかがか。</p> <p>(3) 多賀城創建1301年以降を見据え、本市の歴史資源を観光資源として、県や周辺市町と連携し、教育旅行の誘致を図っていくべきだと思えるがいかがか。</p> <p>(4) 本市の観光振興のためには、多賀城南門等の多賀城跡周辺に休憩スペース及び物産店等の整備が必要と思うがいかがか。</p> <p>(5) 本年度から市内小学校6年生を対象に、多賀城の歴史を学ぶ授業として「多賀城学」を開催しているが、その内容と成果について伺う。また、「多</p>					

賀城学」を転入者等の多賀城の歴史をあまり知らない市民に向けて定期的に開催すべきと考えるがいかがか。

#### 4 東北学院大学多賀城キャンパス跡地の再開発について

仙台市に今春移転した東北学院大学多賀城キャンパスの跡地について、大学を運営する学校法人東北学院が住宅メーカー大手ミサワホーム、子会社の東北ミサワホームに売却し、住宅や商業施設などを組み合わせた一体的なまちづくりが進められる方針、との報道が出たが、以下質問する。

- (1) 本市が現時点で把握している大学跡地の再開発の内容について伺う。
- (2) 本市で今後連携協定を締結し、まちづくりを協働で進める意向との報道もあったが、連携協定の内容や今後の協議スケジュールについて伺う。
- (3) 大学跡地の再開発について、改訂中の多賀城市都市計画マスタープランにどのように反映するかについて伺う。